

学校名	神奈川県立横須賀高等学校		
タイトル	Project M ～トウキョウサンショウウオを守ろう！～		
対象となっている野生生物	トウキョウサンショウウオ		
活動開始年 (西暦)	2016 年 (平成 28 年)	活動に関わっている学年および生徒の数 (年間)	24 人
活動の内容			
トウキョウサンショウウオの啓発活動および他校と連携した保全活動・環境整備をしています。			
活動による成果・効果または活動によって今後期待できること			
トウキョウサンショウウオの卵塊を採取し、育てて生息地に戻し生息地の環境整備をすることで、卵塊数が当初の 12 対から 43 対へと増加しました。また、地域の人たちへの啓発活動が順調に行えています。その影響からか部員達の意識も向上し、高い志を持った後輩達も入部してくれています。今後も啓発活動を続けていくことで、活動する生物多様性について考える人が増えていくと期待できます。			
アピールポイント (活動において特に工夫したこと、注意・注目したことなど)			
三浦半島全体でこの問題を解決するため、高校間での交流にとどまらず、NPO 法人や博物館、研究会の方々に協力していただき活動しています。卵塊がアライグマなどに食べられてしまったことがありましたが、NPO の方に、ワナの設置を行っていただき改善しました。啓発活動の際は、初めてトウキョウサンショウウオに触れる方も多いので専門的な用語を用いず、わかりやすい説明になるように意識しました。また、活動が 6 年目になったことや新型コロナウイルスの影響で情報や技術の引き継ぎがうまくいっていないという課題が見えてきましたが、オンライン上で活動当初の先輩方と情報交換を行い、加えて紙媒体だけでなく電子媒体で記録を残すなどの工夫をすることで解決しました。			
今後の課題、これからやってみたいことなど			
今までの私たちの生息地の環境整備ではビニールシートなどの人工物を用いて池を作っていたため、自然環境に適しているとは言えませんでした。そこで、ものづくりに専門的な知識をもつ横須賀工業高校の皆さんと連携をして、より自然に馴染むような生息地を作成していく予定です。また、トウキョウサンショウウオの人工繁殖について研究をしたいと考えています。加えて、体色変化の実験を通し、保護及び人工繁殖に適した環境を調べる計画を立てています。こういった研究をすることでよりトウキョウサンショウウオへの知識や理解が深まり、活動の幅を大きく広げることを目標としています。			
自由欄			
私たちはトウキョウサンショウウオの保全活動以外にも様々な活動をしています。プログラミング講習会や月に 1 度の化学実験会を行っています。様々な分野を学ぶことで、部員一人一人が部活動を通して新しいことを仲間と一緒にコミュニケーションをとりながら学んでいけます。各々の長所を掛け合わせ、どんな困難にも対応し、素晴らしい結果をもたらすことができる部活動となっています。ちなみに、タイトルの「Project M」のMは三浦半島の略称です。			

※このページが動画と共にウェブサイトにてPDF形式でアップロードされます。文字サイズは11で、用紙1枚に収まるようにまとめてください。